
精華町
地域団体アンケート調査
報告書

令和 8 年 8 月

目次

I	調査概要.....	1
1.	調査の目的.....	1
2.	調査の設計.....	1
3.	回収状況.....	1
4.	報告書の見方.....	1
II	対象団体の概要.....	2
III	調査結果.....	4
IV.	資料編（調査票）.....	18

I 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、「第11次高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画」の策定に向けて、高齢者の生活状況や心身の状態、地域における活動等の状況、普段感じていることなどを把握し、介護保険事業計画をはじめとする高齢者福祉施策の検討や、介護予防の充実に向けた基礎資料とするために実施しました。

2. 調査の設計

調査対象	町内で活動を行っている団体
実施方法	郵送配布、郵送回収、インターネット回答
実施期間	1月28日(水)～2月18日(水)

3. 回収状況

配布件数	有効回収件数	有効回収率
65 件	55 件	84.6%

4. 報告書の見方

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 一部の設問では前の設問の回答内容などにより回答者が限られるため、母数が異なる場合がある。
3. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
4. 複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer = いくつでも) と記載している。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合がある。
5. 表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

Ⅱ 対象団体の概要

【全体】

- 設立年では「2010年～2014年」が20.0%と最も多くなっています。
- 事業財源では「自治会より補助」が70.9%と最も多くなっています。
- メンバー数では「20～29人」が27.3%と最も多くなっています。
- 収支状況では「均衡」が63.6%と最も多くなっています。

(1) 設立年

		(上段：件数 下段：%)						
	全 体	2 0 0 0 年 よ り 前	2 2 0 0 年 ～ 2 4 年	2 5 年 ～ 2 9 年	3 0 年 ～ 3 4 年	3 5 年 ～ 3 9 年	4 0 年 以 上	無 回 答
全 体		55 100.0	9 16.4	10 18.2	3 5.5	11 20.0	8 14.5	14 25.5
メンバー数	1～9人	3 100.0	— —	2 66.7	— —	1 33.3	— —	— —
	10～19人	11 100.0	2 18.2	2 18.2	1 9.1	2 18.2	— —	2 18.2
	20～29人	15 100.0	2 13.3	3 20.0	1 6.7	3 20.0	— —	3 20.0
	30～39人	7 100.0	1 14.3	2 28.6	— —	1 14.3	— —	2 28.6
	40～49人	5 100.0	— —	— —	1 20.0	2 40.0	— —	2 40.0
	50～99人	7 100.0	4 57.1	— —	— —	1 14.3	— —	1 14.3
	100人以上	4 100.0	— —	— —	— —	1 25.0	— —	2 50.0

(2) 事業財源

		(上段：件数 下段：%)						
	全 体	町 か ら の 助 成	協 会 議 会 福 祉 成	補 助 自 治 会 よ り	民 間 助 成	自 己 資 金	利 用 料 者 か ら の	そ の 他
全 体		25 100.0	27 49.1	39 70.9	— —	9 16.4	30 54.5	2 3.6
設立年	2000年より前	9 100.0	7 77.8	1 11.1	8 88.9	— —	3 33.3	6 66.7
	2000～2004年	10 100.0	4 40.0	7 70.0	6 60.0	— —	1 10.0	7 70.0
	2005～2009年	3 100.0	2 66.7	1 33.3	3 100.0	— —	— —	2 66.7
	2010～2014年	11 100.0	5 45.5	7 63.6	7 63.6	— —	2 18.2	5 45.5
	2015～2019年	8 100.0	1 12.5	4 50.0	3 37.5	— —	1 12.5	5 62.5
	2020年以降	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
	2020年以降	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
メンバー数	1～9人	3 100.0	1 33.3	3 100.0	— —	— —	1 33.3	2 66.7
	10～19人	11 100.0	2 18.2	7 63.6	7 63.6	— —	2 18.2	4 36.4
	20～29人	15 100.0	6 40.0	8 53.3	11 73.3	— —	3 20.0	10 66.7
	30～39人	7 100.0	2 28.6	4 57.1	7 100.0	— —	— —	5 71.4
	40～49人	5 100.0	4 80.0	1 20.0	5 100.0	— —	1 20.0	2 40.0
	50～99人	7 100.0	5 71.4	4 57.1	6 85.7	— —	1 14.3	5 71.4
	100人以上	4 100.0	4 100.0	— —	2 50.0	— —	— —	1 25.0

(3) メンバー数

		(上段：件数 下段：%)							
		全 体	1 ～ 9 人	1 0 ～ 1 9 人	2 0 ～ 2 9 人	3 0 ～ 3 9 人	4 0 ～ 4 9 人	5 0 ～ 5 9 人	1 0 0 人 以上
全 体		55 100.0	3 5.5	11 20.0	15 27.3	7 12.7	5 9.1	7 12.7	4 7.3
設立年	2000年より前	9 100.0	— —	2 22.2	2 22.2	1 11.1	— —	4 44.4	— —
		10 100.0	2 20.0	2 20.0	3 30.0	2 20.0	— —	— —	1 10.0
	2000～2004年	3 100.0	— —	1 33.3	1 33.3	— —	1 33.3	— —	— —
		11 100.0	1 9.1	2 18.2	3 27.3	1 9.1	2 18.2	1 9.1	— —
	2005～2009年	8 100.0	— —	2 25.0	3 37.5	1 12.5	— —	1 12.5	— —
		— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
	2010～2014年	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
		— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
	2015～2019年	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
		— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
	2020年以降	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —
		— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —

(4) 収支状況

		(上段：件数 下段：%)				
		全 体	黒 字	均 衡	赤 字	無 回 答
全 体		55 100.0	15 27.3	35 63.6	4 7.3	1 1.8
設立年	2000年より前	9 100.0	1 11.1	7 77.8	1 11.1	— —
		10 100.0	5 50.0	5 50.0	— —	— —
	2000～2004年	3 100.0	— —	3 100.0	— —	— —
		11 100.0	3 27.3	6 54.5	2 18.2	— —
	2005～2009年	8 100.0	1 12.5	6 75.0	1 12.5	— —
		— —	— —	— —	— —	— —
	2020年以降	— —	— —	— —	— —	— —
メンバー数	1～9人	3 100.0	— —	3 100.0	— —	— —
		11 100.0	3 27.3	7 63.6	1 9.1	— —
	10～19人	15 100.0	5 33.3	7 46.7	3 20.0	— —
		7 100.0	— —	7 100.0	— —	— —
	20～29人	5 100.0	3 60.0	2 40.0	— —	— —
		7 100.0	2 28.6	5 71.4	— —	— —
	30～39人	4 100.0	2 50.0	2 50.0	— —	— —
		— —	— —	— —	— —	— —

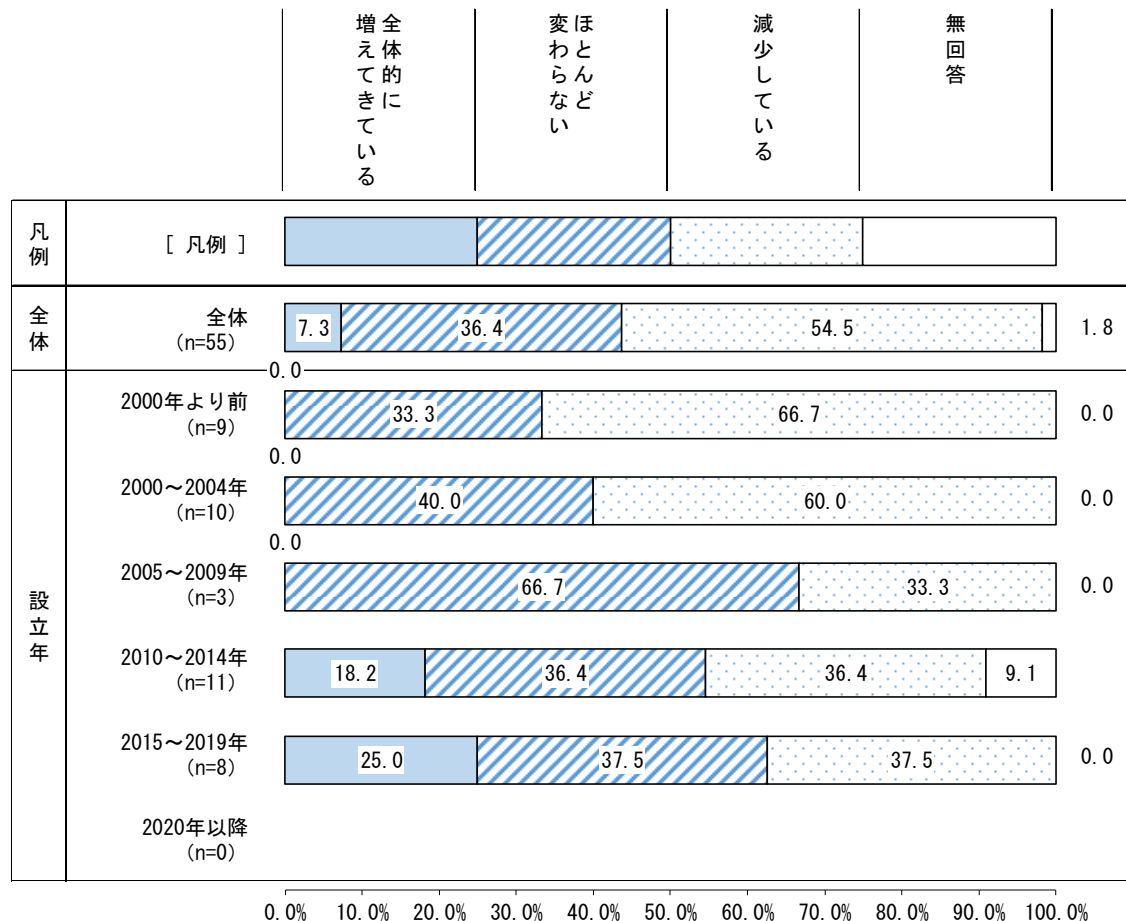
Ⅲ 調査結果

■問1 貴団体の活動人数の傾向はどうか。(1つに○)

【全体】

- 活動人数の傾向について、「減少している」が54.5%で最も多く、次いで「ほとんど変わらない」が36.4%、「全体的に増えてきている」が7.3%となっています。

【活動人数の傾向】

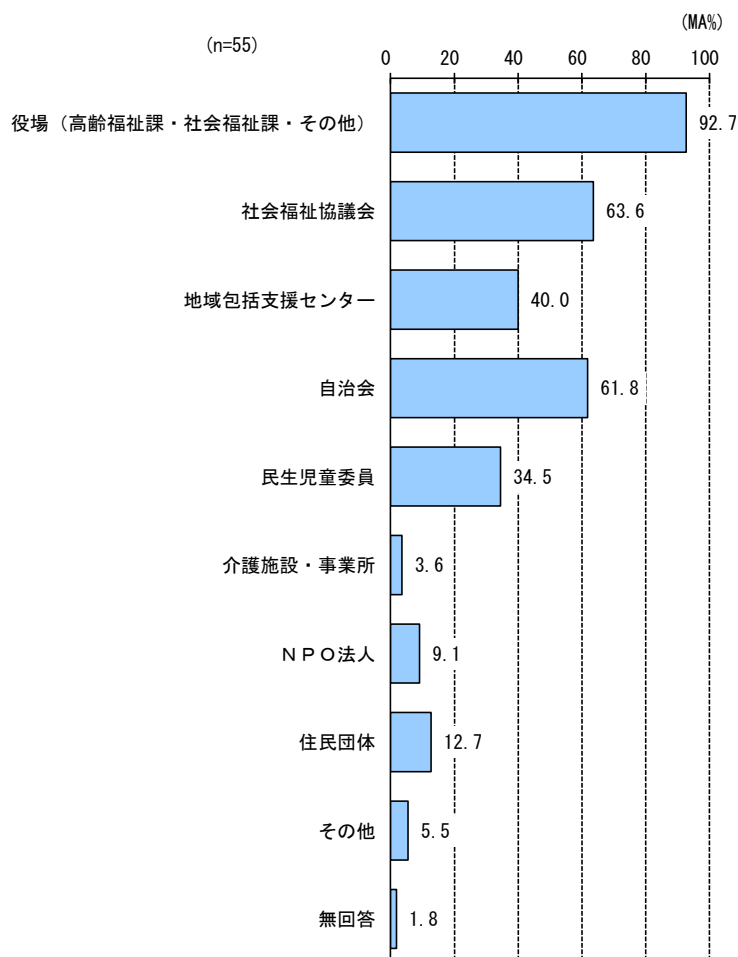


- 問2 活動にあたって連携している機関・団体はありますか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

- 活動にあたって連携している機関・団体について、「役場（高齢福祉課・社会福祉課・その他）」が92.7%で最も多く、次いで「社会福祉協議会」が63.6%、「自治会」が61.8%となっています。

【連携機関・団体の有無】



単位：%

単位：％

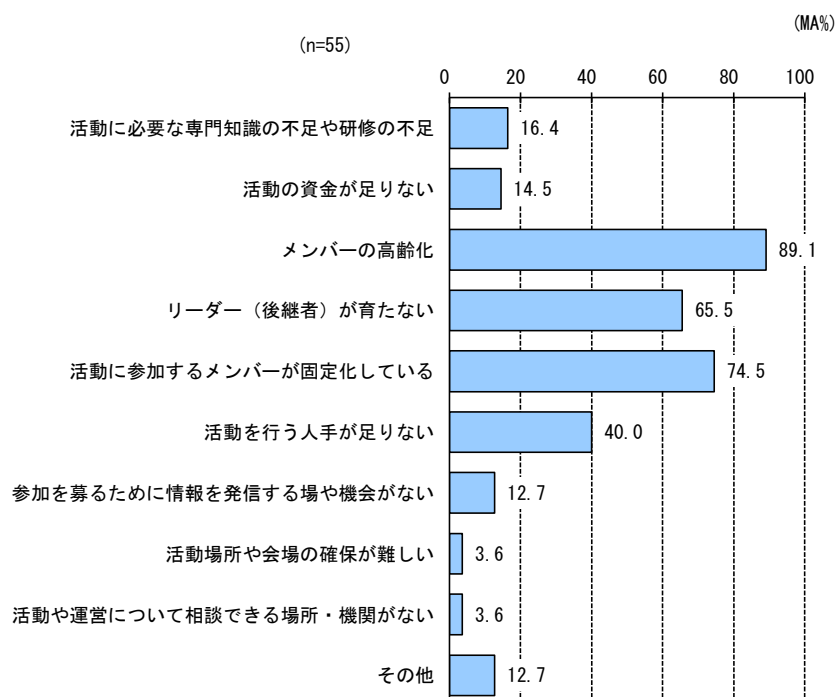
		母数 (n)	活動にあたって連携している機関・団体はありますか。(MA)									
			役場（高齢福祉課・その他） 社会福祉課・その他	社会福祉協議会	地域包括支援センター	自治会	民生児童委員	介護施設・事業所	NPO法人	住民団体	その他	無回答
全体		55	92.7	63.6	40.0	61.8	34.5	3.6	9.1	12.7	5.5	1.8
設立年	2000年より前	9	88.9	▼ 22.2	▼ 11.1	△ 77.8	33.3	11.1	△ 22.2	22.2	－	11.1
	2000～2004年	10	90.0	70.0	40.0	60.0	40.0	－	－	10.0	－	－
	2005～2009年	3	100.0	△ 100.0	33.3	△ 100.0	－	－	△ 33.3	△ 33.3	－	－
	2010～2014年	11	▼ 81.8	72.7	△ 72.7	54.5	27.3	－	－	9.1	△ 18.2	－
	2015～2019年	8	100.0	△ 87.5	△ 50.0	▼ 25.0	37.5	12.5	△ 25.0	12.5	12.5	－
	2020年以降	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

- 問3 貴団体の運営上や活動上で困っていることや課題は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

- 運営上や活動上で困っていることや課題について、「メンバーの高齢化」が89.1%で最も多く、次いで「活動に参加するメンバーが固定化している」が74.5%、「リーダー（後継者）が育たない」が65.5%となっています。

【運営・活動上の困りごとや課題】



単位：%

		貴団体の運営上や活動上で困っていることや課題は何ですか。(MA)										
		母数 (n)	専門知識や研修の不足	活動に必要な資金が足りない	メンバーの高齢化	リーダー（後継者）が育たない	活動に参加するメンバーが固定化している	活動を行う人手が足りない	機会を募るための場や情報を発信する場や	活動場所や会場の確保が難しい	活動や運営について相談できる場所・機関がない	その他
全体		55	16.4	14.5	89.1	65.5	74.5	40.0	12.7	3.6	3.6	12.7
設立年	2000年より前	9	11.1	22.2	△100.0	55.6	77.8	44.4	11.1	-	11.1	11.1
	2000～2004年	10	10.0	-	90.0	△ 80.0	70.0	40.0	10.0	-	-	10.0
	2005～2009年	3	△ 33.3	-	△100.0	△100.0	△100.0	-	-	-	-	△ 66.7
	2010～2014年	11	9.1	9.1	90.9	63.6	▼ 54.5	▼ 27.3	-	-	-	9.1
	2015～2019年	8	△ 37.5	△ 50.0	87.5	△100.0	△ 87.5	△ 62.5	△ 37.5	12.5	-	12.5
	2020年以降	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
メンバー数	1～9人	3	-	-	▼ 66.7	66.7	66.7	33.3	-	-	-	-
	10～19人	11	△ 36.4	△ 27.3	▼ 72.7	63.6	△ 90.9	△ 54.5	18.2	-	9.1	18.2
	20～29人	15	20.0	13.3	△100.0	60.0	▼ 60.0	▼ 20.0	13.3	6.7	-	13.3
	30～39人	7	-	-	△100.0	57.1	71.4	42.9	-	-	-	14.3
	40～49人	5	-	-	△100.0	△100.0	80.0	40.0	-	-	-	-
	50～99人	7	14.3	△ 28.6	△100.0	71.4	△ 85.7	42.9	14.3	-	-	△ 28.6
	100人以上	4	-	-	▼ 75.0	▼ 50.0	▼ 50.0	△ 50.0	-	-	-	-

■問4 問3の課題解決に向けて実施している取組みがあればご記入ください。

●全体で 36 件の回答があり、内訳は以下の通りです。

※複数の分類にあてはまるものは再掲しているため、内訳の合計が全体の回答数と一致しないことがあります。

声掛け勧誘（18 件）
活動ボランティアの人手はここ数年入部者がなく、このままでは活動としての存続が難しくなっている。今回は自治会にお願いし、スタッフを募集する予定をしているが、入部してもらえるか心配。
活発な活動を告知し、前期高齢者の方々を勧誘する。
・「キャラバン・メイト養成講座」の開催（2 年に 1 回を目標）。 ・上記講座受講への勧誘。 ・「認知症サポーター養成講座」開催機会の増加を図り、活動 PR を行う。
当サロンの役員が他の行事の時に、当サロンの PR 活動をして勧誘をして、会員を増やすようにしている。
年 4 回の会報も自治会員に 3 ヶ月に 1 回回覧して楽寿会の状況を周知している。また訪問勧誘活動をしている。
・住民への周知即ち、新しいメンバーの確保にむけて、※回覧板の中に利用者さん配布と同文のチラシを入れてもらっている※その上でメンバーになっていただけた方には折にふれアタックしている。 ・運営していく上で（後継者を育てるというより）現段階でのメンバーに負担とならないように粗方、内容や企画等を年間計画作成として決め、その上でメンバー同士が助け合ってメンバーも利用者さんも和気あいあいとできる時間としている。
入会年齢に近い方々に早めに入会の声かけをしている。
新たに高齢者（65 歳）に達した住民への加入勧奨。
募集の案内をしているが、それだけでは集まらない。
会員が隣近所の高齢者に声かけをするなど、会員の募集等は行っているが、老人会への入会は非常に少ない。
クラブ活動への入会を勧めている。会員相互のコミュニケーションを図る活動を進めている。
回覧でサロンの周知をしているが増加しないので、口コミ・声かけをしている。ボランティアも声かけで増やそうとしている。
ボランティアが利用者人数に比べて少ないので、知り合いに呼びかけている。
該当者に声をかける様にしている。
ボランティアや利用者の個人的な声掛け。
メンバーに参加するように個人のツテで勧誘している。
60 歳代 70 歳前半の方に声かけをしてクラブ入会を募っている。 楽しく明るいオープンな会であることを常日頃からアピールしている。
研修の場があるといい。メンバー募集は回覧、個別に勧誘などしているが、難しい。

広報媒体（7件）
地域の回覧で参加者を募っている。
区内へ内容を報告、お知らせをしている。
年4回の会報も自治会員に3ヶ月に1回回覧して楽寿会の状況を周知している。また訪問勧誘活動をしている。（再掲）
・住民への周知即ち、新しいメンバーの確保にむけて、※回覧板の中に利用者さん配布と同文のチラシを入れてもらっている※その上でメンバーになっていただけた方には折にふれアタックしている。 ・運営していく上で（後継者を育てるというより）現段階でのメンバーに負担とならないように粗方内容、企画等を年間計画作成とし決め、その上でメンバー同志が助け合ってメンバーも利用者さんも和気あいあいとできる時間としている。（再掲）
1. 精華まつり時にコーナーを設けてPR。 2. 華創に2回/年記事をのせて町民にPR。 3. HPを立ち上げて内容をすべて公開している。
機関誌「光遊会通信」を年間4回発行している。クラブ活動への入会を勧めている。会員相互のコミュニケーションを図る活動を進めている。（再掲）
年1回自治会全戸配布（サロンの内容のお知らせ）、一人でも参加してくださる人やスタッフとして活動してくださる人を募集している。
イベントPR（7件）
公開サロン（年2～3回）を通してサロン活動を知ってもらう。
・「キャラバン・メイト養成講座」の開催（2年に1回を目標）。 ・上記講座受講への勧誘。 ・「認知症サポーター養成講座」開催機会の増加を図り、活動PRを行う。（再掲）
当サロンの役員が他の行事の時に、当サロンのPR活動をして勧誘をして、会員を増やすようにしている。（再掲）
1. 精華まつり時にコーナーを設けてPR。 2. 華創に2回/年記事をのせて町民にPR。 3. HPを立ち上げて内容をすべて公開している。（再掲）
様々な交流機会に参加してPR。
他の団体に参加し、宣伝させていただく。他の団体と一緒に活動させて頂く。
研修の場があればいい。メンバー募集は回覧、個別に勧誘などしていますが、難しい。
その他（12件）
地域の民生児童委員さんが中心となって、サロンを運営してくださればと思い、これから少しずつサロンの意義や取組などを話していくようにしたいと考えている。
B級助人の会等で話題に出して課題提出している。
特にこれという妙案はないが、会員のニーズを考えて、行事の内容を考えて実施するようにしている。また、他のサロン活動・行事内容を参考にしている。
・社会福祉協議会に相談してるが前進しない。 ・地域包括支援センターにも相談している。 ・永年続けている規則、決まりを変える事は非常に困難。
多くの人の意見を聞いて、それやったら参加するわとか、それはよいねと言われる内容を取り入れている。皆さんといっしょに食べたりするのも、喜ばれるので実施している。

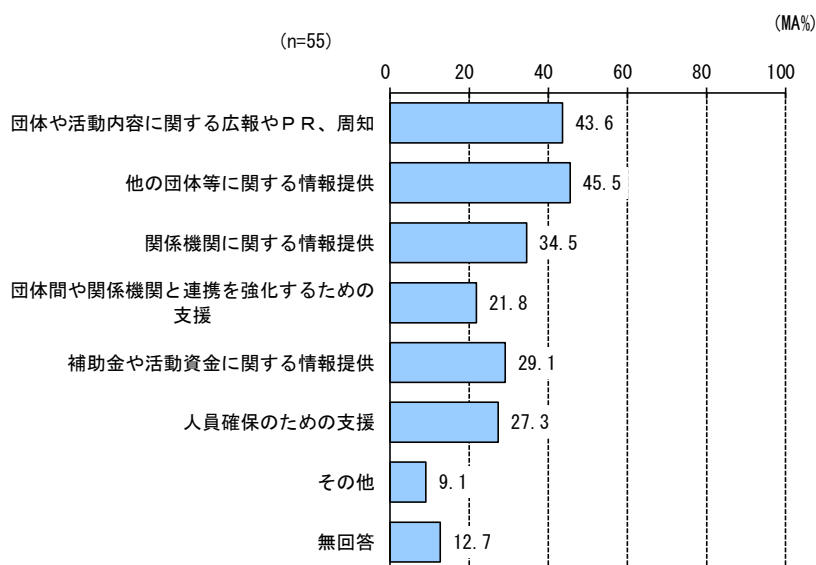
回覧でサロンの周知をしているが増加しないので、口コミ・声かけをしている。ボランティアも声かけで増やそうとしている。再掲)
未確定な情報、うわさを元に何かの機会に加入依頼をしている現状で、進んで取り組みする事ができない。「自治会や老人会へ入っても何もメリットがないので加入しない」という回答が多い。
活動の場所が近いので、現在ではまだ何も…。できるだけ一緒に参加できる方に（車）お願いしている。
色々な組織に加入している方が多いので、お声がけいただいている。
高齢福祉課の支援を受け、毎年、精華町介護予防サポーター養成講座を開催している。修了者（毎年10名以上）は、すてき65メイトとして参画していただいております、活動の中で若手リーダー等の掘り起こしを行っている。
今後考えていく予定。
なし

- 問5 活動を行ううえで、精華町に支援してほしい内容がありますか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

- 活動を行ううえで、精華町に支援してほしい内容について、「他の団体等に関する情報提供」が45.5%で最も多く、次いで「団体や活動内容に関する広報やPR、周知」が43.6%、「関係機関に関する情報提供」が34.5%となっています。

【精華町への支援要望事項】



単位：%

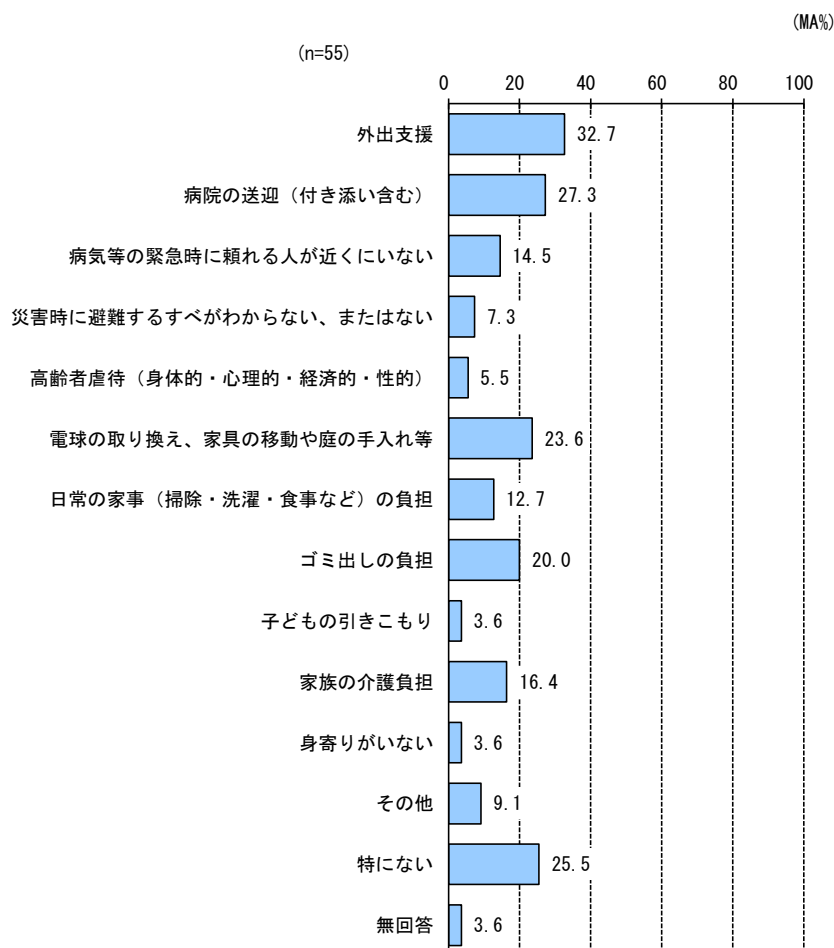
		母数 (n)	活動を行ううえで、精華町に支援してほしい内容がありますか。(MA)							無 回 答
			広 報 や 活 動 内 容 に 関 する	情 報 の 提 供 に 関 する	情 報 提 供 に 関 する	強 化 す る 機 関 と 連 携 を	情 報 提 供 に 関 する	補 助 金 や 活 動 資 金 に 関 する	人 員 確 保 の た め の 支 援	そ の 他
全体		55	43.6	45.5	34.5	21.8	29.1	27.3	9.1	12.7
設立年	2000年より前	9	△ 55.6	△ 55.6	33.3	△ 33.3	33.3	22.2	-	11.1
	2000～2004年	10	50.0	50.0	30.0	-	▼ 10.0	△ 40.0	△ 20.0	10.0
	2005～2009年	3	-	▼ 33.3	△ 66.7	-	33.3	-	-	-
	2010～2014年	11	45.5	45.5	36.4	▼ 9.1	△ 45.5	27.3	9.1	9.1
	2015～2019年	8	△ 62.5	50.0	△ 50.0	△ 62.5	△ 50.0	△ 50.0	△ 25.0	-
	2020年以降	-	-	-	-	-	-	-	-	-
メンバー数	1～9人	3	-	▼ 33.3	33.3	-	33.3	33.3	△ 33.3	-
	10～19人	11	45.5	36.4	27.3	27.3	27.3	36.4	-	18.2
	20～29人	15	53.3	△ 60.0	33.3	13.3	26.7	26.7	-	13.3
	30～39人	7	42.9	▼ 28.6	28.6	14.3	28.6	▼ 14.3	△ 42.9	28.6
	40～49人	5	▼ 20.0	▼ 20.0	△ 60.0	-	-	20.0	-	20.0
	50～99人	7	42.9	△ 57.1	42.9	△ 42.9	△ 42.9	▼ 14.3	-	-
	100人以上	4	△ 75.0	50.0	25.0	25.0	△ 50.0	25.0	△ 25.0	-

- 問6 団体の活動を通じて、団体の参加者や対象者の困りごと等を見聞きすることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

【全体】

- 団体の参加者や対象者の困りごと等を見聞きする機会について、「外出支援」が32.7%で最も多く、次いで「病院の送迎（付き添い含む）」が27.3%、「特にない」が25.5%となっています。

【参加者・対象者の困りごとの見聞き】

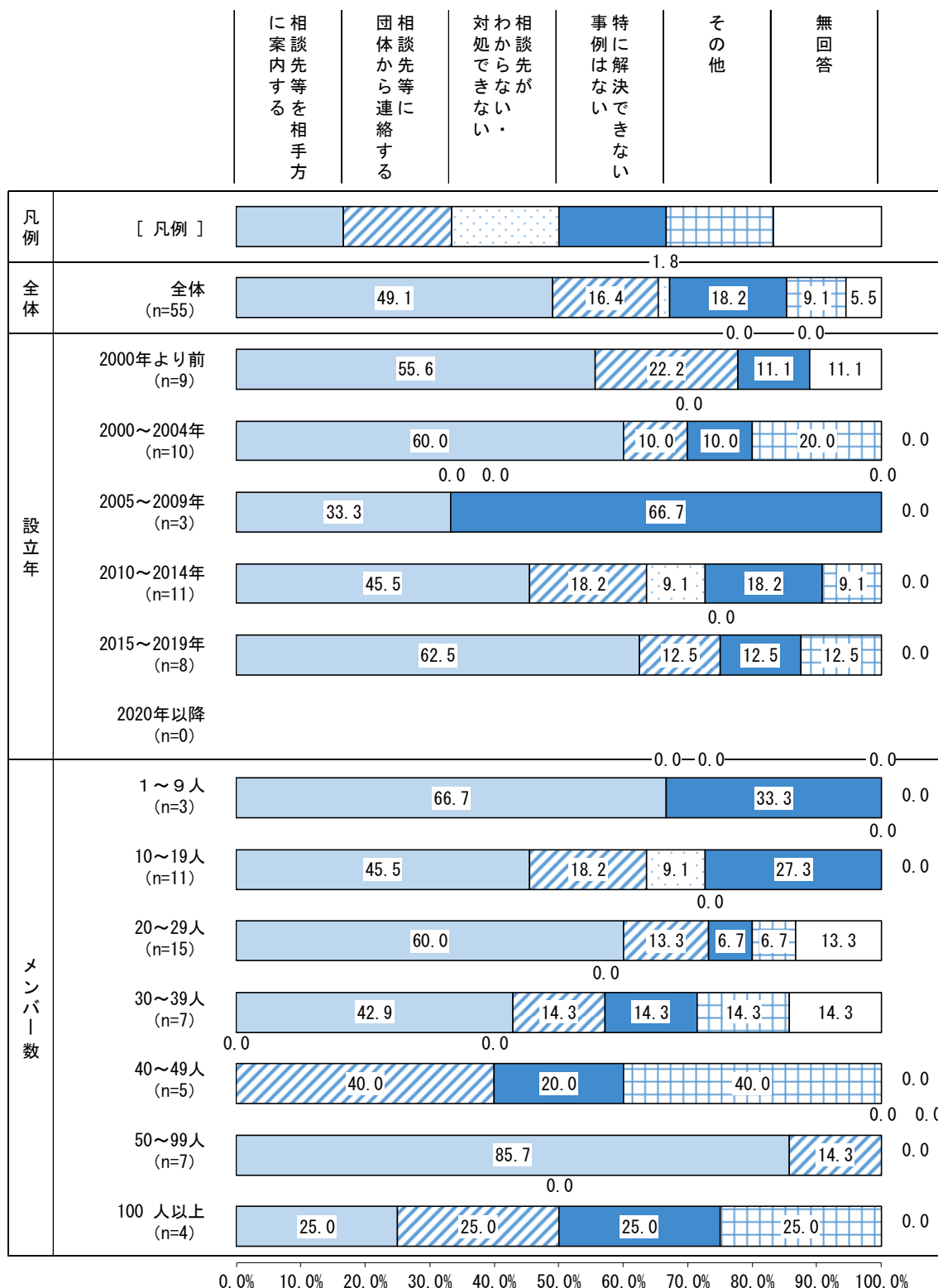


■問7 困りごとや相談に対して、解決できない場合は主にどのように対処しますか。(1つに○)

【全体】

○ 解決できない場合の対処法について、「相談先等を相手方に案内する」が49.1%で最も多く、次いで「特に解決できない事例はない」が18.2%、「相談先等に団体から連絡する」が16.4%となっています。

【解決できない困りごとへの対処方法】



■問8 貴団体の解決できない困りごとや相談事例があればその内容をご記入ください。

●全体で 25 件の回答があり、内訳は以下の通りです。

意見（全 25 件）
活動資金（物品購入）が不足する場合は、自治会へ援助申請。
桜が丘二丁目も高齢化が進んでいるように思う。「ゴミ出し」が辛いという旨の話は、「いきいきくらぶ」でよく話されている。「個別に出せたらいいのにネ!!」と私は返している。桜が丘に新居を構えた時から、30 年～40 年たつと、老化するのは当然。ゴミ出し方法も今後の課題としていただけたらと思う。
住民主体（ボランティア活動）の中で居場所を安定的に持続可能にしていく為には、資金面で不安定であるという事が常に問題である。
新しくボランティアをしていただく方がいない。
毎日の食事。
①楽寿会として毎月 1 回地域のまわりのクリーン作戦で清掃活動を行っているが、高齢化により草取りが大変である。建設課に要望書を提出しているが、北ノ堂地域の北側の用水路の柵の下のコンクリートが削れていて、草取りが大変である。何とか早急に対応していただきたい。（図面と写真は渡しています）。
地域のご婦人から長年にわたり、サロン活動や役員への誹謗中傷が絶えない。特に役員個人への名誉毀損の言動が繰り返し行われている。
共同事業の提案するも難しい。
台風の警報が発令時の送迎の代替。
長寿会（単位老人クラブ）は困りごとや相談を受ける団体ではなく、健康・友愛・奉仕・自己啓発を目的とする団体であり、困りごと等の窓口は、地域福祉委員会や民生児童委員の役割と認識している。
最近、住民の方が自治会を退会されるご家庭がある。ゆうゆう倶楽部もふれあいサロンも自治会よりの助成金をいただき、赤字にならないでやっていけているが、自治会の方よりゆうゆう倶楽部、ふれあいサロンに参加されている中で、自治会に加入していない方に対しては助成金をカットするとの意見が出てきて、何回となく話し合ったが難しい問題である。今年度は何とか申請通りに助成金をいただけたが、今後この件に関しまして困っている。
参加者は元気で自身の事はできる方が多いので、深刻な困りごとはない。地域でできることは小地域の方々の助けも借りて解決できている（主としてゴミの出し方、庭の手入れ等）。
平均年齢が年々上がってきて、下の年代からの入会が全くない。「役職はできない」との意見があり、毎年同じ者が指導者となっており、自分自身も止めることができない。
細かい支援内容より、高齢者ゆえの将来についての漠然とした不安なので、介護支援や施設入所などについての安心できる話ができれば…。
若い人が入会されないので、役員が同じ人間で何年も行っている（役を持って行ったら退会するか）
高齢者一人暮らしで認知が現れている場合。
最大の課題は担い手の発掘と育成である。就労年齢の高齢化に伴い、前期高齢者の参画が以前と比較して減少している。あらゆる機会を利用し呼びかけているが十分とはいえない。今後は、就労しつつも活動できる体制づくりや雇用されている事業者の協力について検討したいと考えている。
特になし（全 8 件）

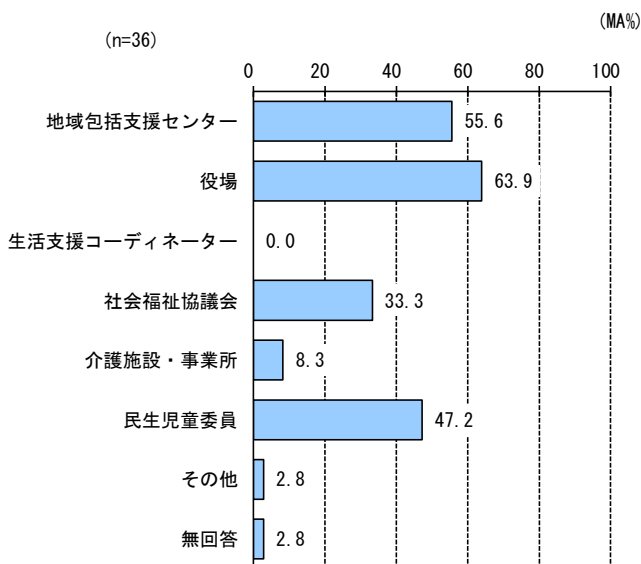
- 問9 問7で、「1. 相談先等を相手方に案内する」または「2. 相談先等に団体から連絡する」を選択した方にお伺いします。

相談先とはどのようなところですか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

- 困りごとの主な相談先について、「役場」が63.9%で最も多く、次いで「地域包括支援センター」が55.6%、「民生児童委員」が47.2%となっています。

【困りごとの主な相談先】



単位：%

単位：％

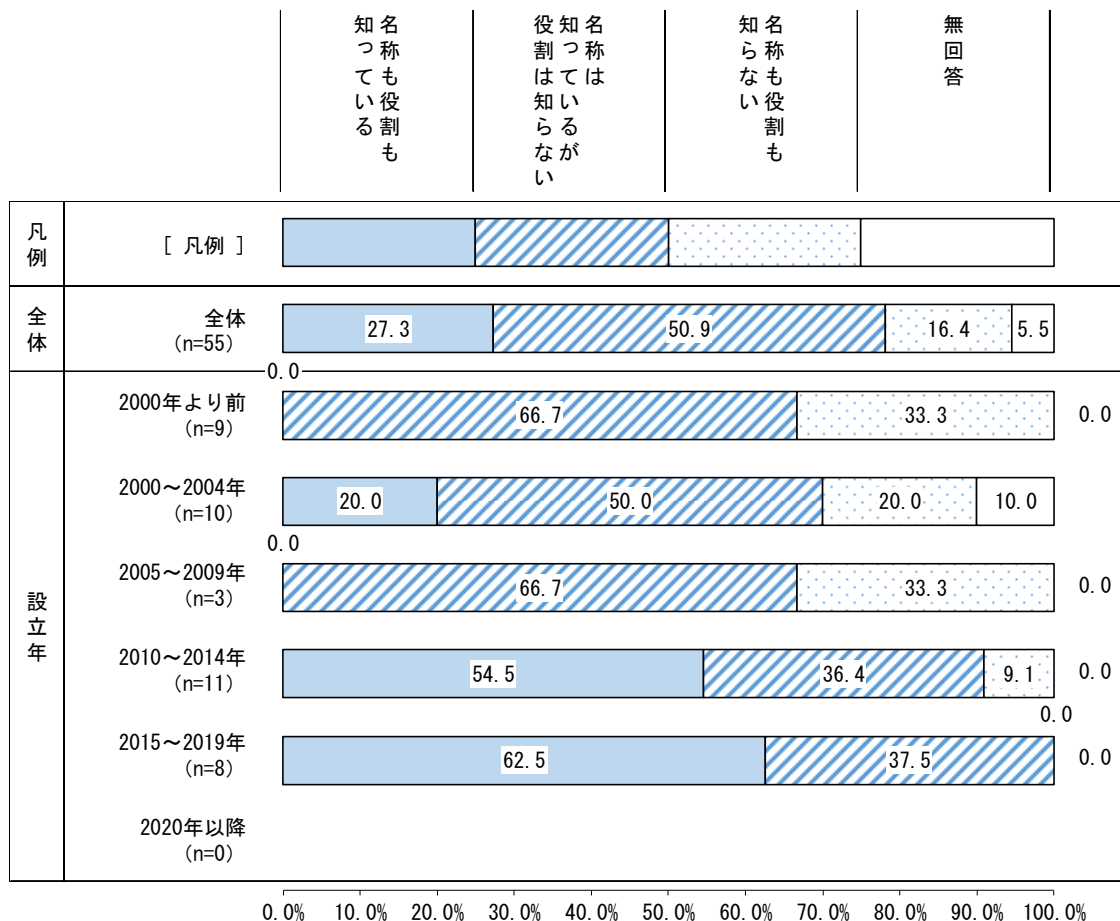
		母数 (n)	相談先とはどのようなところですか。(MA)							
			地域包括支援センター	役場	生活支援コーディネーター	社会福祉協議会	介護施設・事業所	民生児童委員	その他	無回答
全体		36	55.6	63.9	－	33.3	8.3	47.2	2.8	2.8
設立年	2000年より前	7	▼ 42.9	57.1	－	▼ 14.3	14.3	42.9	－	－
	2000～2004年	7	57.1	71.4	－	28.6	－	▼ 28.6	△ 14.3	－
	2005～2009年	1	△ 100.0	△ 100.0	－	△ 100.0	－	－	－	－
	2010～2014年	7	▼ 42.9	▼ 28.6	－	28.6	14.3	△ 71.4	－	－
	2015～2019年	6	△ 100.0	△ 100.0	－	33.3	－	△ 66.7	－	－
	2020年以降	－	－	－	－	－	－	－	－	－

■問10 生活支援コーディネーターを知っていますか。(1つに○)

【全体】

- 生活支援コーディネーターの認知度について、「名称は知っているが役割は知らない」が50.9%で最も多く、次いで「名称も役割も知っている」が27.3%、「名称も役割も知らない」が16.4%となっています。

【生活支援コーディネーターの認知度】



■問 11 今後取り組んでみたいこと、取り組むために勉強したい内容等がありますか。

●全体で 28 件の回答があり、内訳は以下の通りです。

※複数の分類にあてはまるものは再掲しているため、内訳の合計が全体の回答数と一致しないことがあります。

活動・交流（13 件）
行事日程を出来得る限り早くお知らせし、全員参加の環境づくりをしたい。
コロナ前に認知症カフェに取り組んでいたが、時期を見て皆の協力が得られるようであれば再開していこうかと思っている。
参加者が楽しんで時間を過ごせるような企画を作りたい。企画をするに当たり、情報を得るような講習があれば参加したい。
高齢者だけでなく、地域全体で楽しめるイベントをすること（従来行われている催しの中にでも組み入れ、地域全体が笑顔になれるものを企画、実行する）。地域として東西に長く、まだまだ名前は聞いたことがあっても実際にはよく知られていないため（”何か楽しい事がしたい!!”という雰囲気、姿が伺える）。
・認知症予防の為にできる限りのことをしたい。 ・広いスペースの事務所で家賃が無料を見つけたい。 ・「人生会議」をもっと広めたい。 ・会員さんに知識（終活も含む）知らせたい。
子育て支援、子供食堂。
サロンについては皆さんと楽しく時間を過ごし、認知症にならない様、フレイルにも気を付けて体を動かす事をしている。認知症、人生会議、成年後見、体操等は継続して勉強したい。
災害時のこと。サロン参加者とのネットワーク作り。
サロン以外でただ集える場所が欲しいとのメンバー以外の人からの意見があり、どう対処したらいいか、民生委員や他メンバーと考え中。
子供食堂事業。
月 1 回のサロンであるため、どうしてもイベント的になってしまうので、形にこだわらずにフラッと来てその場で楽しめたり、交流できたりしたいと思う…。
いつまでも元気に活動をしていけるよう、楽しく皆仲良く継続していきたい。
防災教室をシリーズ形式で開催していきたいと考えている。日頃からの備えをみんなで学び、支え合える地域づくりになればいいと思っている。

健康づくり（４件）
会員さんに楽しんで過ごしてもらえるような遊び方の工夫、脳トレ講座等の勉強会、研修。
認知症の予防には、どのような事をすれば良いか。運動、脳トレ、食事等。
サロンについては皆さんと楽しく時間を過ごし、認知症にならない様、フレイルにも気を付けて体を動かす事をしている。認知症、人生会議、成年後見、体操等は継続して勉強したい。（再掲）
いつまでも元気に活動をしていけるよう、楽しく皆仲良く継続していきたい。（再掲）
学び（７件）
会員さんに楽しんで過ごしていただけるような遊び方の工夫、脳トレ講座等の勉強会、研修。
参加者が楽しんで時間を過ごせるような企画を作りたい。企画をするに当たり、情報を得るような講習があれば参加したいです。（再掲）
スマホ教室、緊急情報サービス等。
・認知症予防の為にできる限りのことをしたい。 ・広いスペースの事務所で家賃が無料を見つけたい。 ・「人生会議」をもっと広めたい。 ・会員さんに知識（終活も含む）知らせたい。（再掲）
防災教室をシリーズ形式で開催していきたいと考えている。日頃からの備えをみんなで学び、支え合える地域づくりになればいいと思っている。（再掲）
地域包括支援センター、生活支援コーディネーターについて学びたい。
もっと回想法の勉強がしたい。
その他（７件）
利用者さんを増やすために、地域内の啓発はしているつもりだが、なかなか増えない。
銀行等へのアクセス。
北ノ堂には「みまもり隊」があり、楽寿会としてはない。
１にも２にも人員の確保である。引き続き戸別に募集をかけていきたいと思っている。
会員の平均年齢は 81.8 才である。新しい事に取り組む活力がない。
災害時のこと。サロン参加者とのネットワーク作り。（再掲）
会員が多いためまとめるのがむずかしい、高齢者が多いため行動がおこせない（指導者も高齢化）。

**精華町第 11 次高齢者保健福祉計画・
第 10 期介護保険事業計画策定のための
地域団体等の活動に関するアンケート調査**

ご協力のお願い

日頃から、精華町の介護保険事業及び高齢者福祉事業にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

精華町では、この度、第 11 次高齢者保健福祉計画・第 10 期介護保険事業計画(令和 9 年度から令和 11 年度までの計画)を策定するにあたり、町内で活動を行っている団体の活動状況、今後の展開、ご意見をお聞きし、事業計画がより実態に即したものとなるよう、アンケート調査を実施させていただくこととなりました。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

なお、お答えいただきました内容は、計画策定の基礎資料として活用するとともに必要に応じて集計・分析し、個人情報 that 特定されない形で利用することがあります。

令和 8 年 1 月

お問い合わせ・調査票提出先 精華町 健康福祉環境部 高齢福祉課
電話 0774-95-1932

《調査への回答について》

●回答の締め切りは、令和 8 年 2 月 18 日（水）です。

●インターネットからもご回答いただけます。

スマートフォン・パソコン・タブレットで専用サイトにアクセスしてください。

URL : <https://logoform.jp/form/Wt2M/1335506>



●調査票に記入される場合は、以下の方法でご返却願います。

【ご返却方法】

- 郵 送：同封の返送用封筒をお使いください
- 窓 口：直接窓口にお持ちください
- F A X：以下にご送付ください

精華町 健康福祉環境部 高齢福祉課
(0774-95-3974)

貴団体についておたずねします

団体名		設立年	
代表者名		連絡先	
事業財源 （あてはまるものすべてに○）	1. 町からの助成 3. 自治会より補助 5. 自己資金 7. その他（ ）	2. 社会福祉協議会助成 4. 民間助成 6. 利用者からの利用料	
メンバー数	（ ）人		
収支状況	1. 黒字 2. 均衡 3. 赤字		

■問1 貴団体の活動人数の傾向はどうか。（1つに〇）

1. 全体的に増えてきている	2. ほとんど変わらない	3. 減少している
----------------	--------------	-----------

■問2 活動にあたって連携している機関・団体はありますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 役場（高齢福祉課・社会福祉課・その他（課名： ））

2. 社会福祉協議会 3. 地域包括支援センター

4. 自治会 5. 民生児童委員

6. 介護施設・事業所（名称： ）

7. NPO 法人（名称： ） 8. 住民団体（名称： ）

9. その他（ ）

■問3 貴団体の運営上や活動上で困っていることや課題は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 活動に必要な専門知識の不足や研修の不足
2. 活動の資金が足りない
3. メンバーの高齢化
4. リーダー（後継者）が育たない
5. 活動に参加するメンバーが固定化している
6. 活動を行う人手が足りない
7. 参加を募るために情報を発信する場や機会がない
8. 活動場所や会場の確保が難しい
9. 活動や運営について相談できる場所・機関がない
10. その他（ ）

■問4 問3の課題解決に向けて実施している取組みがあればご記入ください。

■問5 活動を行ううえで、精華町に支援してほしい内容がありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|-----------------|
| 1. 団体や活動内容に関する広報やPR、周知 | |
| 2. 他の団体等に関する情報提供 | 3. 関係機関に関する情報提供 |
| 4. 団体間や関係機関と連携を強化するための支援 | |
| 5. 補助金や活動資金に関する情報提供 | 6. 人員確保のための支援 |
| 7. その他 (|) |

■問6 団体の活動を通じて、団体の参加者や対象者の困りごと等を見聞きすることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1. 外出支援 | 2. 病院の送迎(付き添い含む) |
| 3. 病気等の緊急時に頼れる人が近くにいない | |
| 4. 災害時に避難するすがわからない、またはない | |
| 5. 高齢者虐待(身体的・心理的・経済的・性的) | |
| 6. 電球の取り換え、家具の移動や庭の手入れ等 | |
| 7. 日常の家事(掃除・洗濯・食事など)の負担 | |
| 8. ゴミ出しの負担 | 9. 子どもの引きこもり |
| 10. 家族の介護負担 | 11. 身寄りがいない |
| 12. その他 (|) |
| 13. 特にない | |

■問7 困りごとや相談に対して、解決できない場合は主にどのように対処しますか。(1つに○)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 相談先等を相手方に案内する | 2. 相談先等に団体から連絡する |
| 3. 相談先がわからない・対処できない | 4. 特に解決できない事例はない |
| 5. その他 (|) |

■問8 貴団体の解決できない困りごとや相談事例があればその内容をご記入ください。

■問9 問7で、「1. 相談先等を相手方に案内する」または「2. 相談先等に団体から連絡する」を選択した方にお伺いします。相談先とはどのようなところですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|------------|
| 1. 地域包括支援センター | 2. 役場 |
| 3. 生活支援コーディネーター | 4. 社会福祉協議会 |
| 5. 介護施設・事業所 | 6. 民生児童委員 |
| 7. その他（ | ） |

■問10 生活支援コーディネーターを知っていますか。(1つに○)

- | |
|---------------------|
| 1. 名称も役割も知っている |
| 2. 名称は知っているが役割は知らない |
| 3. 名称も役割も知らない |

■問11 今後取り組んでみたいこと、取り組むために勉強したい内容等がありますか。

■ その他、支え合いや高齢者福祉についてなど、ご意見等があればご記入ください。

ご協力ありがとうございました。